

(様式1)

平成31年度(2019年度)「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所 属 名	佐世保市立広田中学校	作成者	職名	教頭
電話番号	(0956) 39-2926		氏名	永谷 伸二
1 年間の実施内容(取組状況・実績等)				
4 月	実施テーマ	服務内規の確認・飲酒運転の根絶・体罰の根絶		
○服務内規の配付と説明・指導、コンプライアンス通信の配付 ○ハンドルキーパー運動の推進 ○飲酒運転三ない運動の推進 「酒を飲んだら車を運転しない」「車を運転する前には酒を飲まない」「車を運転する人には酒を出さない」 ○教員の懲戒権や生徒の人権についての共通理解と共通実践 ○体罰を含めた生徒指導についての共通理解 体罰をしない、させない、許さない職場づくり ○危機管理、失敗事例集を活用した事例研修(校内研修) ○「自己温床度チェック票」の活用 ○「自己分析チェックシート」の実施				
取組状況チェックリスト ☒ 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 ☒ 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。				
取組の評価・改善点 年度当初の校長による学校経営説明にも「信頼される学校づくり」という観点から服務規律の順守の講話があり、職員の意識を高めた。今後も不祥事根絶について職員室内の話題として取り上げ意識の維持を図る。				
9 月	実施テーマ	飲酒運転の根絶・ハラスメントの防止・体罰の根絶		
○ハンドルキーパー運動の推進、コンプライアンス通信の配付 ○飲酒運転三ない運動の推進 ○教職員間の連携と意思疎通 ○ハラスメントの防止に向けた相談窓口の充実 ○危機管理、失敗事例集を活用した事例研修(校内研修) ○体罰をしない、させない、許さない職場づくり				
取組状況チェックリスト ☒ 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 ☒ 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。				
取組の評価・改善点 職員朝会での周知・指導を徹底し、服務規律に関する校内研修を実施した。また、酒席は週末に設定し、開催日に合わせ事前に、飲酒後の帰宅手段、翌日の行動についても確認し、飲酒運転、酒気帯び運転の根絶を図った。				
12 月	実施テーマ	飲酒運転の根絶・情報セキュリティ対策の徹底		
○ハンドルキーパー運動の推進、コンプライアンス通信の配付 ○飲酒運転三ない運動の推進 ○学校内における情報・データ等の保存・管理体制を的確に把握し、管理体制の再確認 ○危機管理、失敗事例集を活用した事例研修 ○自己温床度チェック票の活用				
取組状況チェックリスト ☒ 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 ☒ 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。				

取組の評価・改善点 県市教育委員会からの不祥事に関する通知・通達、コンプライアンス通信を随時連絡し、自校または自分の問題として捉え、本校からは絶対不祥事を出さない意識を再確認した。また、体罰については、指導の際、複数での対応を徹底させ、暴言、威圧などについても配慮し保護者との連携を重視した。	
2 服務規律委員会	
委員会名	運営委員会・PTA本部役員会
構 成 員	所属内委員（8名 構成員：校長・副校長・教頭・教務主任・各学年主任・生徒指導主事） 外部委員（10名 役職等：PTA本部役員10名）
活動内容 (主なもの)	○服務規律強調月間の取組について説明 ○各学年の生徒及び職員について情報交換 ○学校経営、学校運営への参画について依頼 ○学年間の連絡調整
活動内容の評価・改善点 運営委員会において年間の取組を共有し、具現化することができた。また、PTA本部役員会等の折に、上記の件について協議を行った。外部からの視点で適切な助言等をいただき、服務規律の徹底に生かすことができた。	
3 年間を通しての計画の達成状況	
年間を通しての取組状況チェックリスト ☒ 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 ☒ 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。 ☒ 自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。	
年間を通しての取組の評価・改善点 【評 価】 ○市教育委員会・市教育センターの服務規律研修をもとに、校内研修を実施し、全教職員の意識高揚を図ることができた。 ○「飲酒運転の根絶」については、教職員全員が共通認識をもって共通実践ができた。また、教職員の倫理観が高揚し、コンプライアンスの確立に向けた職場環境づくりにつながった。 ○生徒指導については、職員朝会や生徒指導部会、特別支援部会において、特に気になる生徒の理解に努め、積極的な生徒指導を推進することができた。 ○「情報セキュリティ対策の徹底」については、職員同士がお互いに注意を喚起し合い、意識改革ができた。 【改善点】 ○ 不祥事防止研修において、警察関係や弁護士等の専門家を講師として招聘し、実例を挙げながらの研修も今後計画していきたい。	
■ 管理職員による職員に対する指導状況 （不祥事発生に伴う「綱紀の保持」の通知があった場合に全所属が記入します。）	
①指導年月日：平成31年4月23日（通知日：平成31年4月19日） 指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。） 「教職員の綱紀の保持について」 ・ 通知文書を印刷して職員へ配付 ・ 通知の内容（不祥事と処分）を説明し、教職員としてしっかりと自覚し、綱紀を保持するよう指導した。	
②指導年月日：平成31年4月23日（通知日：平成31年4月22日） 「教職員の服務規律の確保等について」 指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）	

- ・ 通知文書を印刷して職員へ配付
 - ・ 法令の遵守、飲酒運転の防止、体罰の禁止、ハラスメントの防止、業務の効率化と軽減、年次休暇の取得促進について指導した。
- ③指導年月日：令和元年7月4日（通知日：令和元年6月19日）
「令和元年度夏季休業日における教職員の含む及び学校管理について」
指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）
- ・ 校内用の文書を作成して印刷し職員へ配付
 - ・ 職員会議の議題として取り扱い、服務規律の遵守と綱紀の保持について指導した。
- ④指導年月日：令和元年8月9日（通知日：令和元年7月22日）
「教職員の綱紀の保持について」
指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）
- ・ 自己分析チェックシートを印刷して職員へ配付
 - ・ 回答する時間と結果を客観的に分析する時間を確保し、教職員として自覚ある行動に徹するよう指導した。
- ⑤指導年月日：令和元年9月13日（通知日：令和元年9月9日）
「教職員の綱紀の保持について」
指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）
- ・ 通知文書を印刷して職員へ配付
 - ・ 小学校事務職員のわいせつ動画投稿に関する事例と処分を伝え、服務規律を徹底する指導した。
- ⑥指導年月日：令和元年10月11日（通知日：令和元年10月11日）
「不祥事防止のための教育長緊急メッセージについて」
指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）
- ・ 県教育長からの緊急メッセージを印刷して職員へ配付
 - ・ 13：30職員を招集し、緊急メッセージを校長が読みあげて指導
- ⑦指導年月日：令和元年11月8日（通知日：令和元年10月24日）
「教育長緊急メッセージの配布と指導の徹底について」
指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）
- ・ 県教育長からの緊急メッセージを目につく場所に保管するよう指示
 - ・ 不祥事根絶について指導
- ⑧指導年月日：令和元年11月22日（通知日：令和元年11月18日）
「教職員の綱紀の保持について」
指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）
- ・ 通知文書を印刷して職員へ配付
 - ・ 小学校教諭の飲酒運転に関する事例と処分を伝え、飲酒運転を絶対にしないよう指導した。
- ⑨指導年月日：令和元年12月5日（通知日：令和元年11月29日）
「令和元年度冬季休業日における教職員の含む及び学校管理について」
指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）
- ・ 校内用の文書を作成して印刷し職員へ配付
 - ・ 職員会議の議題として取り扱い、服務規律の遵守と綱紀の保持について指導した。
- ⑩指導年月日：令和2年2月21日（通知日：令和2年2月17日）
「教職員の綱紀の保持について」
指導の内容（具体的な指導内容を箇条書きで記載してください。）
- ・ 通知文書を印刷して職員へ配付
 - ・ 特別支援学校教諭の暴言に関する事例と処分を伝え、体罰や暴言等の言動を絶対にしないよう指導した。